

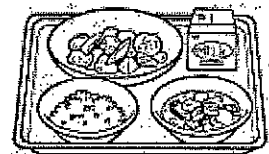
市長定例記者会見資料
平成26年(2014年)6月5日
教育委員会事務局学事給食課(担当)牟礼 電話918-5056(内線3443)

## 平成28年度からの全校実施に向けて着々と 中学校給食

近年、子どもたちの「食」をめぐるっては、朝食欠食や夕食孤食など多くの課題があり、成長期の中学生にとって栄養バランスのとれた健全な食生活を送ることは重要であります。そのため、中学校給食の実現は大変意義深いものがあり、子どもたちや保護者の方をはじめ、多くの市民の皆さんが待ち望んでいます。

これまで、公募市民や学識者、学校関係者などから構成される「明石市中学校給食検討委員会」での検討や市議会での審議などを経て、平成25年2月に給食実施の具体的な方向性を定めた明石市中学校給食基本計画を策定し、東西2か所のセンターを建設して、各中学校に配送する方式により、平成28年度から全校実施するべく、着々と準備を進めているところです。

今回の6月議会には、(仮称)明石市東部中学校給食センターや、平成27年9月から先行的に実施するモデル校(大蔵、高丘、魚住中学校)の一つである市立魚住中学校の配膳室など、関連施設整備にかかる工事議案を上程しました。基本計画に定める事業スケジュールに従い遅滞なく実施できるよう、議会で丁寧に説明し、承認していただけるよう努めてまいります。



### 記

#### 1 実施に向けてのポイント

##### (1) 県下初 市費栄養士を配置 ～安全安心でおいしい給食の提供を～

中学校給食の実施にあたって重要な要素である、食育推進やアレルギー対応について全国的に見ると、ほとんどの自治体では、国、県の配置基準により配置される「県費栄養教諭」が中心的役割を担っています。

本市では、当基準により東西2か所の給食センターに配置が見込まれる4名の「県費栄養教諭」に加え、市独自で9名の「市費栄養士」を学校に配置し、合計13名体制で、手厚い対応を行ってまいります。

なお、市費栄養士の中学校への配置については、兵庫県下では初めてとなります。

##### (2) 地元食材の使用や生産者との交流も ～地産地消の推進～

地産地消には、新鮮で安全な食材調達できることや、「顔が見える」安心感があること、「旬」の味覚を味わうことができること、地元に対する愛着や誇りを醸成させることができることなど様々なメリットがあります。

本市小学校給食においては、既に様々な地産地消の取組を行っているところですが、このたび中学校給食を始めるにあたり、明石に愛着を持つ子どもたちを育てていくためにも、

生産者団体と連携し、できる限り地元食材を使用できるよう努めるほか、郷土料理の献立への採用や、生産者との交流を企画するなど、小学校給食同様に地産地消の推進に努めてまいります。

**【参考資料】**

- 〈資料1〉 中学校給食関連議案概要
- 〈資料2〉 中学校給食に係るこれまでの経緯
- 〈資料3〉 今後の予定

中学校給食関連議案概要

1 東部中学校給食センター関連（議案第67号及び68号）

(1) 事業の概要

中学校給食について、平成27年9月からのモデル校（先行実施校）、平成28年度からの全校実施に向けて、旧交通部事務所棟等（和坂）の除却を行い、当該敷地に7,000食の調理能力を持つ（仮称）明石市東部中学校給食センターを建設します。

建設後、当センターからモデル校である大蔵中学校、高丘中学校、魚住中学校の3校に給食を配送します。

また、平成28年度以降は西部中学校給食センターも稼働するため、配送校の組み替えを行い、当センターから錦城中学校、朝霧中学校、大蔵中学校、衣川中学校、野々池中学校、望海中学校、大久保中学校、大久保北中学校、高丘中学校、江井島中学校の10校に配送することを予定しています。

(2) 工事概要

ア（仮称）明石市東部中学校給食センター新築ほか工事（議案第67号）

給食センター棟新築工事	1,417,368	千円	
屋外附帯工事	188,795	千円	
除却工事	24,637	千円	工事費合計 1,630,800千円

イ（仮称）明石市東部中学校給食センター厨房機器設備工事（議案第68号）

厨房機器設備設置工事	247,350	千円
------------	---------	----

(3) 工事期限 平成27年6月30日

(4) 施設概要

- ・調理能力：7000食
- ・敷地面積：6,100.00㎡
- ・建築面積：2,939.55㎡
- ・延べ面積：3,999.17㎡（鉄骨造2階建）

2 魚住中学校配膳室関連（議案第66号）

(1) 事業の概要

本校は、モデル校（先行実施校）として、平成27年9月から中学校給食を実施する予定であり、給食センターから配送される給食を保管し配膳するために必要となる配膳室を南校舎の北側に建設します。

また、併せて、学校環境改善のため、北校舎屋外廊下の屋内化工事や、渡り廊下増設工事、東校舎トイレの改修工事を実施します。

(2) 工事概要

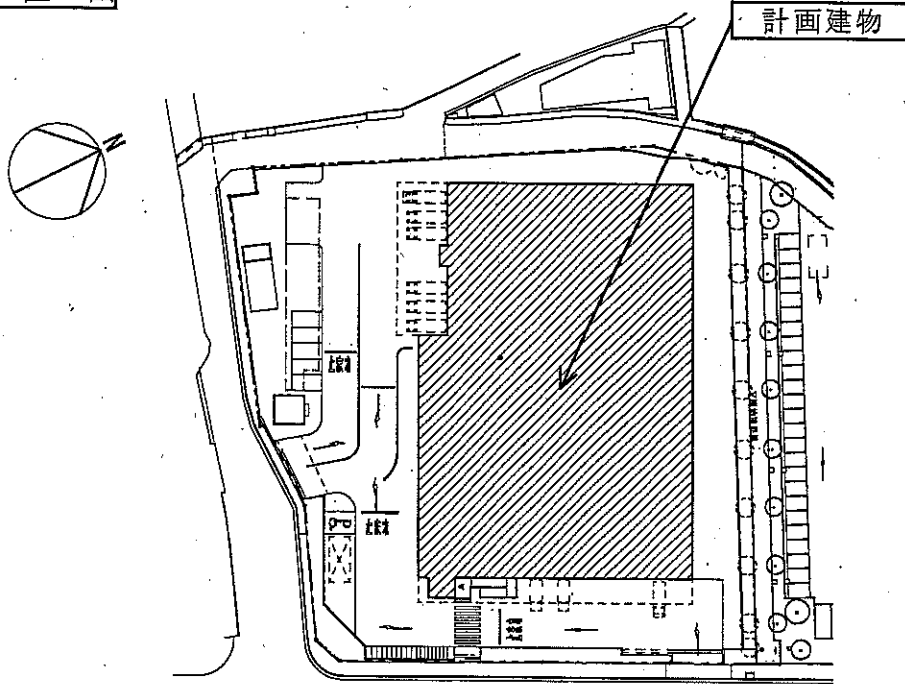
配膳室関連工事	32,249	千円	
学校環境改善関連工事	161,611	千円	工事費合計 193,860千円

(3) 工事期限 平成27年2月10日

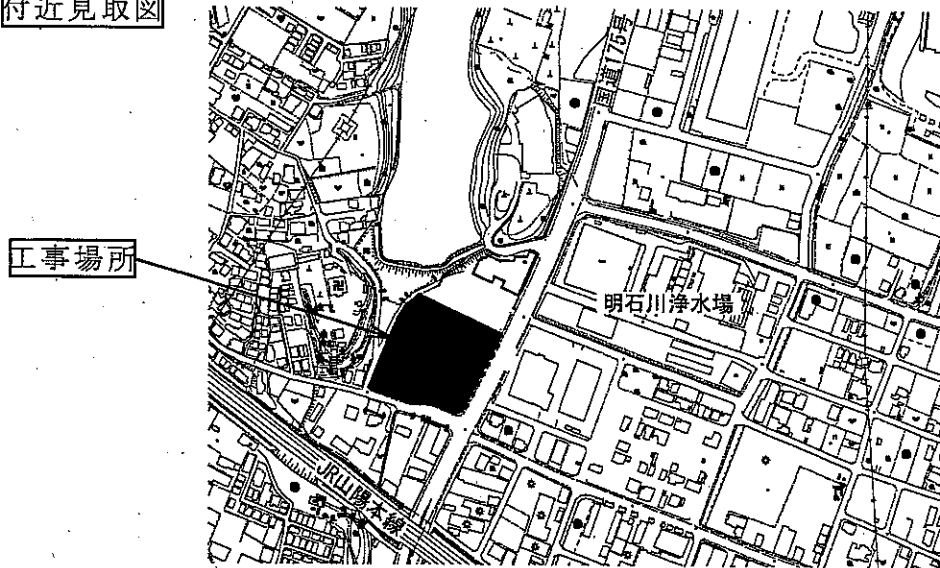
(4) 施設概要 ・延べ面積：139.65㎡（平屋建て）


(参考) (仮称) 明石市東部中学校給食センター新築ほか工事

配置図



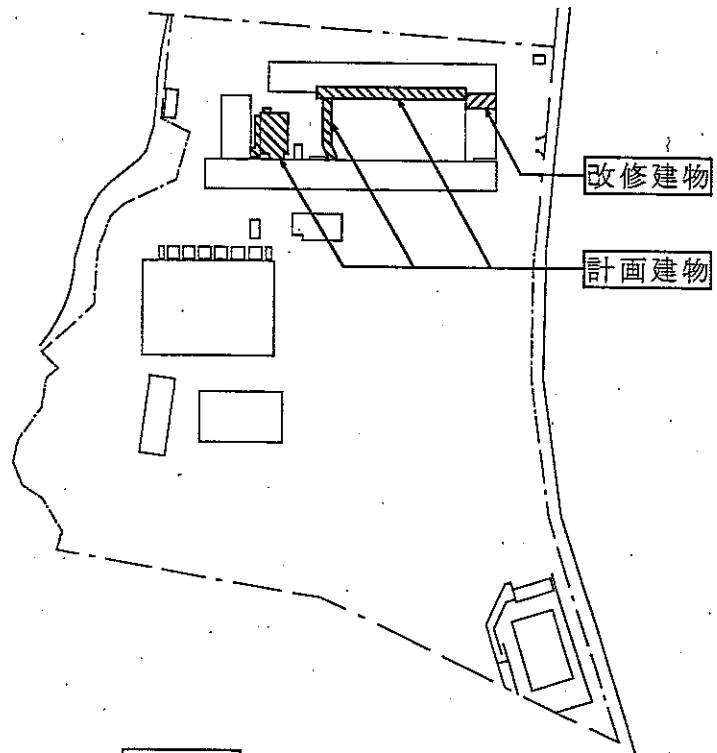
付近見取図



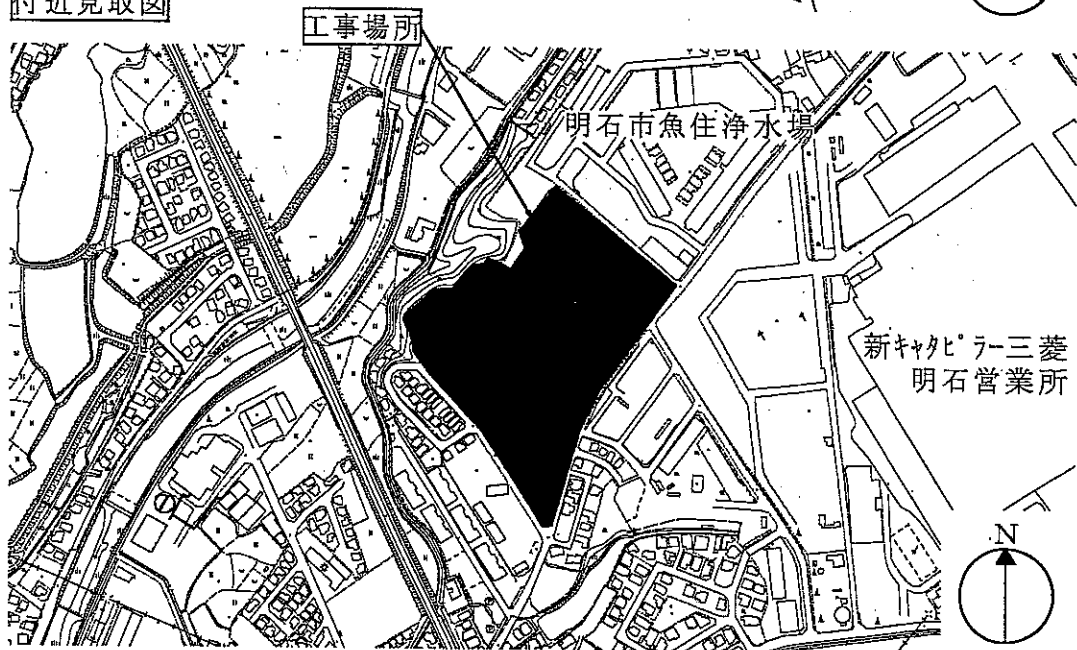
	計画建物
工事場所	明石市和坂1丁目212-1の一部ほか
工事期限	平成27年6月30日



(参考) 明石市立魚住中学校北校舎廊下及び配膳室増築ほか工事

配置図



付近見取図



	計画建物
	改修建物
工事場所	明石市魚住町清水364
工事期限	平成27年2月10日

中学校給食に係るこれまでの経緯

年度・月	内 容
平成23年度 6月	議会で中学校給食の早期実現の請願採択 議会で中学校給食の実施を市長が表明
8～11月	中学校給食導入経費調査 ・実施方式毎の実施可能性調査、中学校配膳室設置可能性調査 等
10月	決算審査特別委員会が中学校給食の早期実施の附帯意見を決議
12月	議会で「センター方式により平成27年春から中学校給食を実施したい」との方針を表明
3月	議会で基本計画策定及び検討委員会経費は承認、センター方式前提の実施設計費は見送り
平成24年度 4月	中学校給食学校運営課題検討会を設置
5月	中学校給食検討委員会を設置
7月	中学校給食に関するアンケートを実施
1月	中学校給食検討委員会より教育委員会へ検討報告書を提出 明石市中学校給食基本計画（案）を策定
2月	パブリックコメントを実施 中学校給食意見交換会を開催 明石市中学校給食基本計画を策定
3月	議会で2か所の給食センターの実施設計費を承認
H25年度 4～5月 5月～	自校方式実施可能性継続調査 (総合的に判断した結果、調査対象校について自校方式では実施しないことを決定)
6月～	給食施設の実施設計に着手 公募型厨房プロポーザル方式により、先行して給食センターの厨房機器に関するメーカーを決定
8月	モデル校（先行実施校）として大蔵中学校、高丘中学校、魚住中学校の3校を選定
3月	各種マニュアルの素案を策定（給食管理・給食指導・食物アレルギー対応）

今 後 の 予 定

年 度	整 備 等 内 容
26年度	<p>7月 東部給食センターの工事に着手 ※6月議会で契約議案可決後 (工期：7月～翌年度6月)</p> <p>夏休み期間中心にモデル校（大蔵・高丘・魚住中学校）3校の配膳室工事を実施</p> <p>10月 西部給食センターの工事に着手 ※9月議会で契約議案可決後 (工期：10月～翌年度12月)</p>
27年度	<p>夏休み期間中心にモデル校以外10校の配膳室工事を実施</p> <p>7～8月 東部給食センター導入前準備（調理シミュレーション等）</p> <p>9月～ モデル校（大蔵・高丘・魚住中学校）で給食を先行実施 ※東部給食センターから配送</p> <p>1～3月 西部給食センター導入前準備（調理シミュレーション等）</p>
28年度	<p>4月 西部給食センター稼働に伴い東西が担当する配送校の変更 (西部：魚住、魚住東、二見中学校 東部：左記以外10校)</p> <p>※ 全校実施に移行（モデル校での検証終了後）</p>